

科目ナンバリング		U-LAS03 10003 SB48							
授業科目名 <英訳>		外国文献研究(文・英) B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)B-E1			担当者所属 職名・氏名		文学研究科 准教授 林 拓也		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	文系向
【授業の概要・目的】									
<p>2019年に発表された次の論文を精読する。</p> <p>Mercer, Christia. "The Contextualist Revolution in Early Modern Philosophy." <i>Journal of the History of Philosophy</i>, vol. 57 no. 3, 2019, p. 529-548.</p> <p>本論文は、1980年代に英語圏で生じた、近世哲学史研究における主要な手法の転換を説明し、今日の新たな研究動向を検討するものである。</p> <p>この授業では、本論文の講読を通じて、英文の精確な読解能力を養うとともに、哲学史研究で用いられる様々な手法や、哲学と哲学史の関係についての理解を深めることを目指す。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を精確に読み、分かりやすい日本語に置き換える能力を高める。 ・ 当該テーマに関する英語文献を理解する力を養う。 									
【授業計画と内容】									
<p>第1回：オリエンテーション 使用するテキストの概要や、授業の進め方、予習や発表の仕方、評価方法等について説明する。</p> <p>第2～14回：テキストの精読 受講生全員が予習をしていることを前提に、テキストの精読を冒頭から順に進める。その場で指名された受講生は一文を目安に訳読をすること。</p> <p>第15回：期末試験</p> <p>第16回：フィードバック</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
平常点(70%：授業中の訳読、授業中の発言内容等)と期末試験(30%)によって評価する。									
----- 外国文献研究(文・英) B-E1(2)へ続く -----									

外国文献研究（文・英）B-E1(2)

【教科書】

PandAのリソースにテキストのファイルをアップロードする予定。ファイルは、この授業に使用する以外の目的に使用せず、第三者にも譲渡しないこと。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する。

【授業外学修（予習・復習）等】

授業中訳読ができるように準備し、固有名詞についても調べておくこと。

【その他（オフィスアワー等）】

履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部哲学基礎文化学系および基礎現代文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生

【主要授業科目（学部・学科名）】